文部省指導要領準拠

監修・家庭教師センター学習館

楽しい算数

セガ・パソコン用ソフトウェア

SEGA®

STRATFORD C.A.I.

〔著作者より〕

C.A.I.とは、Computer Assisted Instructionの略で、「コンピュータを補助手段として用いる教育システム」という意味になります。ストラットフォード・コンピュータセンターは、このC.A.I.用ソフトの開発を目的に設立されました。

コンピュータは、教育分野においても大きな力を発揮します。1920年代からアメリカの教育心理学者――プレッシーやスキナーによって研究されてきた「プログラミング学習」が、コンピュータの活用によって、いま一層明確な形で実現されるようになりました。しかし、言うまでもなく教育のすべてを担うことはできません。たとえば、コンピュータとのやりとりをキーボードで行うために、字を覚えたり考えをまとめるのに大切な「手で書く作業」が、学習者に欠如してきます。これを補うためには、必ずノートや鉛筆を用意して、できるだけ「手で書くこと」が必要になります。すべてをコンピュータに頼るのではなく、あくまでも補助として活用することが大切です。

ストラットフォードでは、姉妹会社「家庭教師センター学習館」で培われたノウハウをもとに、現役教師をはじめとする多くの教育関係者のご協力を得て開発を進めております。また、作品の内容も、生徒たちが楽しく学習できるように、ゲーム形式を取り入れ、文部省の学習指導要領に準拠した形で作成しております。

このたび株式会社セガ・エンタープライゼスのご協力を得て、同社のパソコン用ソフトウェアとして、このカートリッジを世に贈ることになりました。

開発にあたっては、細心の注意を払うよう心がけておりますが、万一お気付の点や、ご意見ご希望がありましたら、ご教示くださるようここにお願い申し上げます。

ストラットフォード・コンピューターセンター株式会社
教育事業部

(画面は小学４年・上です)

Ⓐ

学習内容のセレクション

カートリッジをさし込み、電源をＯＮにすると、学習内容をセレクトする画面があらわれます。（図Ａ参照）

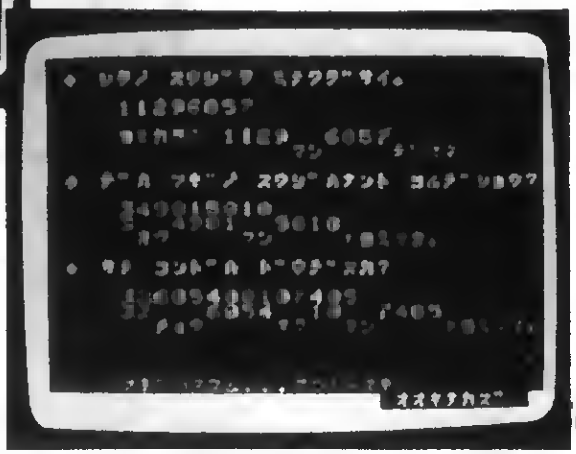
学習内容は、

〈セレクト・ナンバー〉

- ●オオキナカズ・カケザン……（1）
- ●カクド・シカクケイ　……（2）
- ●ガイスウ　……（3）
- ●ワリザン　……（4）
- ●ケイサンノ　ジュンジョ……（5）
- ●メンセキ　……（6）
- ●カワリカタ　……（7）

にわかれています。そして、それぞれ、ガクシュウ篇とテスト篇の２パターンがあります。まず、ガクシュウ篇で予習して、力をつけテスト篇に進みましょう。

Ⓑ



©

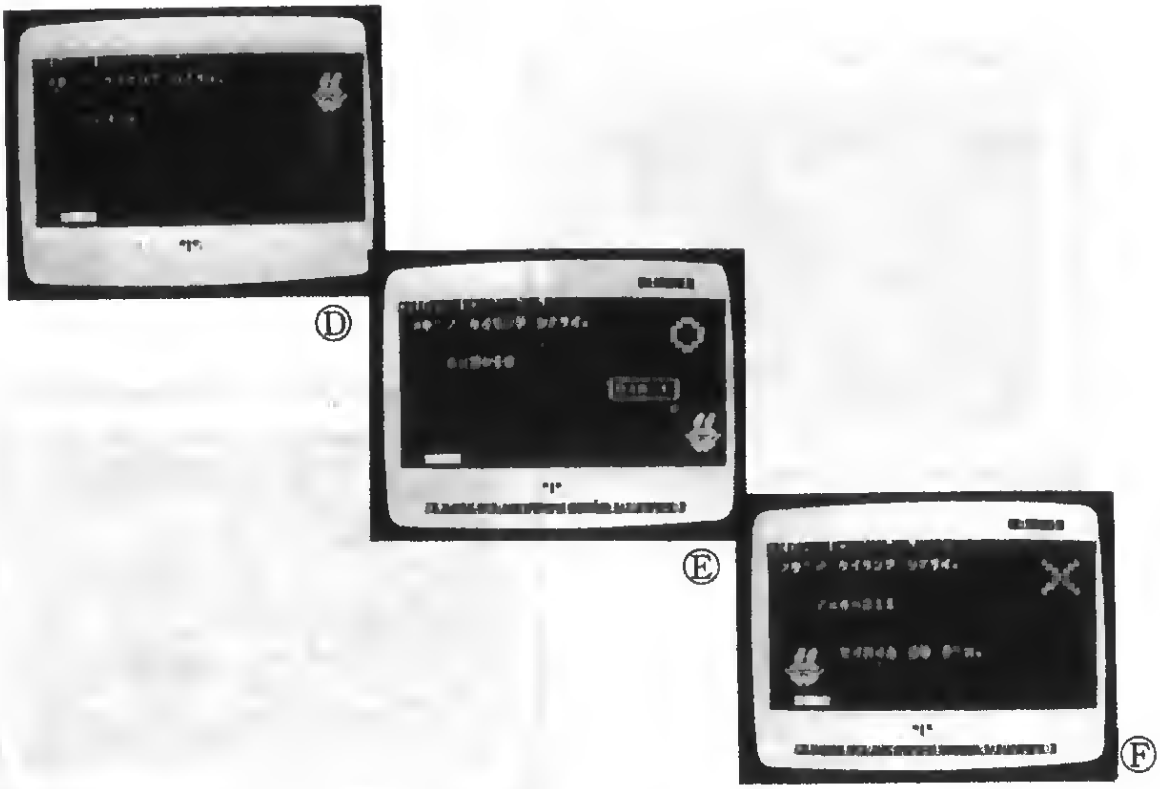
ガクシュウ篇

〝オオキナカズ・カケザン〟を選ぶ場合、セレクト・ナンバーが1ですから、キーボードの[1]のキーを押し、続けて[CR]を押してください。他の場合も、2～7までのセレクト・ナンバーを押し、[CR]キーを続けます。なお、キーを押し間違えた時は、[INS DEL]キーを使って訂正してください。

画面が変わり、コンピュータがガクシュウ篇にするか、テスト篇にするかきいています。（図B参照）

ガクシュウ篇は1に[CR]を、テスト篇は2に[CR]を押しましょう。

ガクシュウ篇の場合、コンピュータがその学習内容の予習を画面でしてくれます。よく読んで勉強しましょう。その予習が終わりましたら、キーボードの一番下の中央にある細長いスペース・キーを押して、次の予習に進んでください。また、その学習内容の予習が終わりましたら、1を押して、もう一度予習するか、2を押して、その学習内容のテストを受けましょう。（図C参照）



Ⓓ

Ⓔ

Ⓕ

テスト篇

テスト篇をはじめましょう。まず、紙とエンピツを用意してください。メモや計算などに使いましょう。

画面の黒板に、その学習内容に応じた問題が出されます。答えがわかりましたら、キーでその答えを画面に書いてください。そして必らず最後に、CRキーで入力しましょう。（図D参照）

正解の場合、「セイカイ！」と出て、○をもらえます。間違っていた場合は、「マチガイ」と表示され、×になり、正解を教えてくれます。出題される問題は、各学習内容とも15問です。次の問題に進む時は1を、また途中でやめる時は0を押しましょう。

なお、割り算であまりが出る問題では、商を答え、CRキーを押し、その後あまりを答え、再度CRキーを押してください。

また、小数点を使う場合、[>。/■ル]キーでタイプしましょう。

採点は、画面右上に、解答数に対する正解数の比率で計算されます。左が正解数、右が解答数になっています。（図E、F参照）

SEGA® 株式会社 セガ・エンタープライゼス

本　社　東京都大田区羽田１－２－12　〒144　電話 03(742)3171(大代表)
お問合せは本社パーソナルコンピュータ事業部まで

原ソフトウェア著作権者：©ストラットフォード・ビデオ・ゲーム センター株式会社　1983
本ソフトウェア著作権者：©株式会社セガ・エンタープライゼス　1983
本ソフトウェアのプログラミングと本説明書
の無断複写や転載を禁じます